

建築文化週間 2014 : 「木造建築における地産木材利用の推進に向けて」

日 時 : 平成 26 年 10 月 18 日 (土) 9:00~17:30

会 場 : 一般財団法人 建材試験センター西日本試験所 (山陽小野田市大字山川)

定 員 : 100 名 (当日先着順)

参加費 : 無料

趣 旨 : 森林の CO₂ 吸収・固定機能は地球温暖化を防ぐ効果があるとして注目されている。若い木の多い森林は成長量が多く、高齢な木の多い森林より CO₂ を多く吸収するため、森林を適切に管理し、新陳代謝させていくことが必要である。また、しっかり管理された森林は、土砂崩れなどから私たちの生活を守り、良質な水を供給してくれる。なお、木材の地産・地消は、豊かな環境の創出と地域の活性化につながると考えられる。

一方、2000 年の建築基準法の性能規定化により、法規的な問題が解決されて以来、木造建築の技術開発が進められ、その技術を適用した新しい木造建築が登場し始めた。また、公共建築物等木材利用促進法が施行され、木造公共建築物が増加している。今後、益々地産木材を活用した建築物が普及・拡大することが望まれる。そこで、本シンポジウムでは、木造公共建築物の見学会を開催するとともに、中国地方の地域特性を踏まえながら、木造建築物に地産木材の利用に向けて今後の取り組みを議論し、木造建築物の安全性の確保および長寿命化の実現について最新の研究動向を紹介する。

プログラム : 午前 木造建築物見学会 午後 シンポジウム

参加ご希望の方は、①氏名 ②連絡先住所 ③連絡先電話番号 ④同行人数をご記入の上、10 月 3 日までに FAX (082-424-7839) や E メール (german-r@yamaguchi-u.ac.jp) にてお申し込みください。

午後の部のシンポジウムのみのご参加の場合は、その旨をご記載ください。

また、懇親会参加希望の方は、併せてご記載をお願いいたします。

問合せ : 山口大学工学部感性デザイン工学科 李柱国准教授

Tel & Fax. : 0836-85-9731, E-mail: li@yamaguchi-u.ac.jp